

大阪国道事務所における出前講座について

古澤 克朗

近畿地方整備局 道路部 交通対策課 (〒540-8586大阪府大阪市中央区大手前1-5-44)

大阪国道事務所では、大阪府内の小学校を対象に、交通安全事業でどのようなことを行っているのかを知っていただくため、歩行者や自転車が安全・快適に利用するための道路の工夫や道路を安全に利用していただくためのマナーについて出前講座を実施している。

実施後に実施効果を把握するためのアンケート調査を行った結果、楽しみながらも目の不自由な方や足の不自由な方への思いやりや、日頃気がつかなかった道路の利用に関するマナーについて知っていただく機会となったことが確認できた。

キーワード 出前講座, 交通安全, 交通ルール, バリアフリー, 道づくり, 体験学習

1. はじめに

今回本論文で取り上げるのは、管理分野のうちの「みどりとGO!」という講座名で実施しているものである。

「出前講座」や「出前授業」という名前で実施されているものは多くの行政機関で実施されているほか、民間企業等でも社会貢献の一環として実施されている。

近畿地方整備局では、国民のみなさんとの対話を重視した「コミュニケーション型国土行政」の推進するため、また、近畿地方整備局の事業や施策について、もっとみなさんに知っていただくとともに、みなさんからのご意見やご要望等を聞かせていただくための場として、「出前講座」を開設している。「出前講座」の対象範囲は、近畿2府6県（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県及び三重県の一部）としており、市民団体、公共性・公益性のある団体・機関等（学校法人、地方公共団体、公益法人等）が主催する講演等を対象としている。講座は、防災、環境、官庁営繕、管理、契約、公園、工事、事業、施策、都市計画及び用地の11分野 257テーマの講座を開設している。

本論文では、大阪国道事務所で開催された出前講座のうち、大阪府内の小学校を対象に実施された交通安全事業に関する講座を対象に、アンケート結果から小学生が交通安全に関する内容を理解するために、どのような手法が有効であるか等について紹介する。

(1) 「みどりとGO!」の実施状況

「みどりとGO!」の過去8年間の実施状況は下記のとおりである。

表-1 年度別実施回数と延べ人数

| 年 度 | 実施回数 | 延べ人数 |
|--------|------|------|
| 2006年度 | 4回 | 500人 |
| 2007年度 | 2回 | 160人 |
| 2008年度 | 2回 | 115人 |
| 2009年度 | 1回 | 108人 |
| 2010年度 | 1回 | 123人 |
| 2011年度 | 1回 | 112人 |
| 2012年度 | 1回 | 75人 |
| 2013年度 | 1回 | 47人 |

(2) 「みどりとGO!」の主な実施内容について

「みどりとGO!」は大阪府内の小学校（主に3、4年生）を対象に90～120分の講座時間で、交通安全事業でどのようなことを行っているのかを知っていただくために実施しているが、交通安全事業には、交通事故を防止するために行う事故重点対策事業と通学路の安全確保や歩道の整備といった交通安全施設等整備事業があり、出前講座でこのすべてを対象にすることは難しいことから、交通安全施設等整備事業のうち、主にバリアフ

2. 大阪国道事務所における出前講座

大阪国道事務所では、環境及び管理の2分野 4テーマの講座を開設している。

リーを対象に出前講座を実施している。

出前講座の流れと主な実施内容は下記のとおりである。

a) 講座内容の説明

大阪国道事務所がどのような仕事をしているのかについての簡単な説明、バリアフリーについての説明及び体験実習についての説明と注意事項についてスクリーンを使って説明を行った。

b) 点字ブロック体験

2種類の点字ブロック（点状・線状ブロック）の意味や白杖の説明を行った後、アイマスクをして白杖を持ち、点字ブロックを実際に歩いて足で体感し、目の不自由な方が道を歩く状況を体験してもらうことで、点字ブロックの大切さと点字ブロックの周囲に障害物があると危険だということを勉強してもらった。

c) ブロック透水実験

普段歩いている歩道に使われている平板ブロックについて説明を行った後、一見、同じようなブロックに見える「普通のブロック」、「透水性ブロック」、「保水性ブロック」の違いを体験し、水溜まりのできにくい道路の工夫、環境に優しい道路の工夫を勉強してもらった。

d) 車いす体験

車いすを使用している方にとってどういったものが障害となるのか、及び車いすが使用しやすい道路の工夫について説明を行った後、車いすに乗って実際に段差や傾いた道を体験してもらうことで、車いすを使用している方にとっての道路の障害について体験し、障害を無くすことの大切さを勉強してもらった。

e) クイズ・まとめ

自転車を利用する際の交通ルール等の交通安全に関するクイズやバリアフリーに関するクイズ等に挑戦してもらい、楽しく交通安全について学んで、最後に講座の中で体験によって学んでもらったことについてまとめを行い、身の回りで行なっていることは何かを考えてもらった。



写真-1 「講座内容の説明」の実施状況



写真-2 「点字ブロック体験」の実施状況



写真-3 「ブロック透水実験」の実施状況



写真-4 「車いす体験」の実施状況

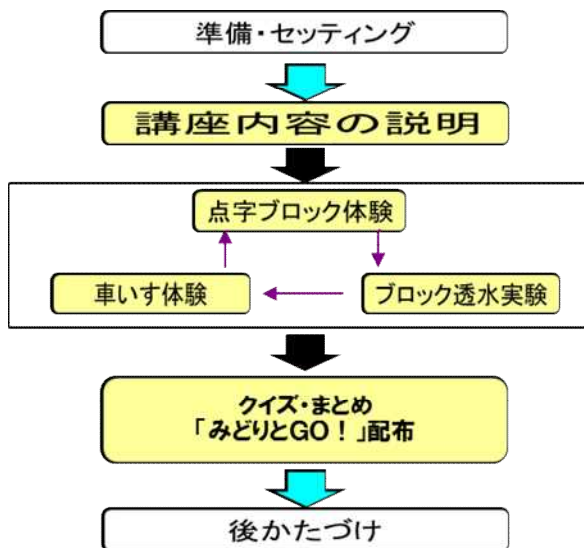


図-1 出前講座の流れ

3. これまでの成果

これまで実施してきた出前講座の成果について、出前講座実施後のアンケート調査をもとに考察を行う。

なお、アンケートは生徒用と保護者・先生用の2種類あり、各アンケートの調査内容は表-2、表-3のとおりである。

表-2 アンケート調査内容（生徒用）

| 項 目 | 回 答 |
|------------------------------|--|
| 1. 出前講座は楽しかったですか？ | ①とても楽しかった ②楽しかった ③ふつう ④つまらなかった 上記4項目から一つ選択 |
| 2. 出前講座はわかりやすかったですか？ | ①とてもわかりやすかった ②わかりやすかった ③ふつう ④わからなかった 上記4項目から一つ選択 |
| 3. 出前講座の時間はどうでしたか？ | ①短く感じた ②丁度いい ③長く感じた 上記3項目から一つ選択 |
| 4. 出前講座は、自分たちの生活に役に立つと思いますか？ | ①とても役に立つと思う ②役に立つと思う ③あまり役に立ちそうにない ④役に立たないと思う 上記4項目から一つ選択 |
| 5. 出前講座の中で、何が一番よかったですか？ | ①バリアフリーのお話 ②車いす体験 ③点字ブロック体験 ④平板ブロック体験 ⑤特になし 上記5項目から一つ選択 |
| 6. 自由に感想や意見を書いて下さい。 | 自由回答 |

表-3 アンケート調査内容（保護者・先生用）

| 項 目 | 回 答 |
|---|---|
| 1. 「出前講座」の企画を何でお知りになりましたか？ | <input type="checkbox"/> 大阪国道事務所ホームページ <input type="checkbox"/> 近畿地方整備局ホームページ <input type="checkbox"/> 他の小学校での開催結果を聞いて <input type="checkbox"/> 以前に実施したことがある <input type="checkbox"/> その他（具体的に教えて下さい。） 上記5項目から一つ選択 |
| 2. 「出前講座」の企画はどうでしたか？ | <input type="checkbox"/> とても良かった <input type="checkbox"/> 良かった <input type="checkbox"/> あまり良くなかった <input type="checkbox"/> 役に立たなかった <input type="checkbox"/> その他（具体的に教えて下さい。） 上記5項目から一つ選択 |
| 3. 今回の出前講座は道路の「バリアフリー」と「マナー」をテーマに実施しましたが、その他にどのような講座があればいいと思いますか？ | 自由回答 |
| 4. 「みどりとGO！（道路のバリアフリー）」の内容について、良かった点・悪かった点など、ご意見をお聞かせ下さい。 | 自由回答 |

(1) 生徒用アンケート調査の結果について

各項目ごとのアンケート調査結果は、図-2～図-6のとおりである。

図-2の「出前講座は楽しかったですか？」及び図-3の「出前講座はわかりやすかったですか？」の質問に対し、約9割の生徒が「とても楽しかった」または「楽しかった」、「とてもわかりやすかった」または「わかりやすかった」と回答していることから、出前講座の内容は主に対象としている小学校3年生または4年生にとって適切で満足のいくものであったといえる。

図-4の「出前講座の時間はどうでしたか？」の質問に対し、約6割の生徒が「丁度いい」と回答している一方、「短く感じた」と回答した生徒が約3割、「長く感じた」と回答した生徒が約1割いた。これは参加人数が多い講座の場合に「短く感じた」と回答した生徒が多く、参加人数が少ない講座の場合に「長く感じた」と回答した生徒が多いことから、参加人数による影響が多いと考えられる。

《生徒用アンケート調査結果》

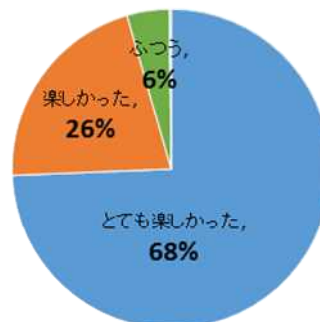


図-2 出前講座は楽しかったですか？

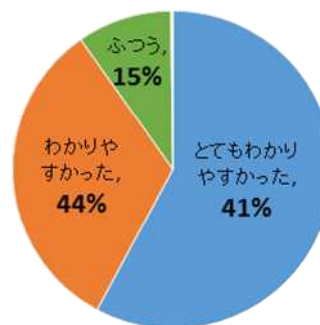


図-3 出前講座はわかりやすかったですか？

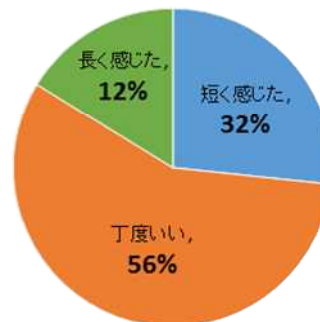


図-4 出前講座の時間はどうでしたか？

図-5の「出前講座は自分たちの生活の役に立つか?」の質問に対しては、9割以上の生徒が「とても役に立つと思う」または「役に立つと思う」と回答しており、講座の内容は普段の生活ではあまり意識していない内容であったり、体験することのない内容であったことから、今回の講座で体験することで新たな知識を習得し、今後の生活に役に立つと感じたのではないかと考えられる。

図-6の「出前講座の中で、何が一番よかったですか?」の質問に対し、約6割の生徒が「車いす体験」と回答している一方、「バリアフリーのお話」は1割にも満たないことから、話を聞くだけではなく、普段はほとんど体験することのないことについて、実際に自分で体験することで、楽しく学ぶことができたと考えられる。

また、感想や意見の中でも「車いす体験をして難しかったけど楽しかった。こんなに車いすが難しいことがわかった。」や「点字ブロック体験が楽しかった。でも難しく、目の不自由な方は大変なんだと思った。」などの感想が多く、実際に体験することで楽しみながら理解をしていることがわかる。

(2) 保護者・先生用アンケート調査の結果について

各項目ごとのアンケート調査結果は、図-7～図-8のとおりである。

図-7の「出前講座の企画を何でお知りになりましたか?」という質問に対し、「無回答」及び「その他」を除くと「他の小学校での開催結果を聞いて」という回答が最も多く、過去の実施状況等からの口コミによる情報等が多いという結果となった。

図-8の「出前講座の企画はどうでしたか?」という質問に対しては、9割以上が「とても良かった」または「良かった」と回答しており、保護者・先生にとっても満足いくものであったことがわかる。

「バリアフリー以外にどのような講座があればいいですか?」という質問に対しては、「自転車のマナー」や「自転車の交通知識」など自転車に関する意見が多く、自転車に関する意識が高いことがわかる。

また、「今回の講座の良かった点・悪かった点等の意見」については、「車いす体験ができてよかった」、「日頃できない体験ができてよかった」や「体の不自由な方の日常の不便さや怖さが体験できて良いことだと思った。」など体験学習についてよかったという意見が多く、今回の講座についての満足度は高いことがわかる。

4. 今後の実施内容

これまでのアンケート結果から、出前講座の内容については生徒、保護者・先生共に満足いくものであった

《生徒用アンケート調査結果》

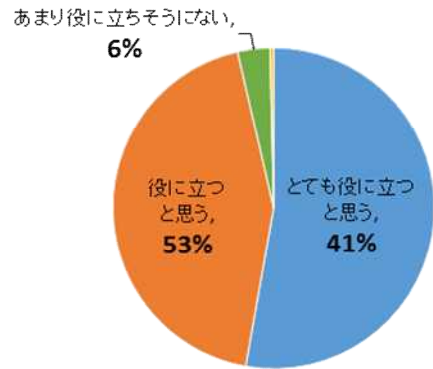


図-5 出前講座は自分たちの生活の役に立つか? と思いますか?

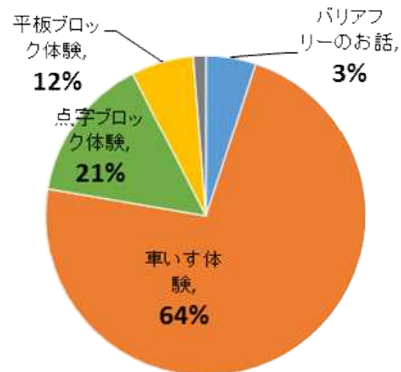


図-6 出前講座の中で、何が一番よかったですか?

《保護者・先生用アンケート調査結果》

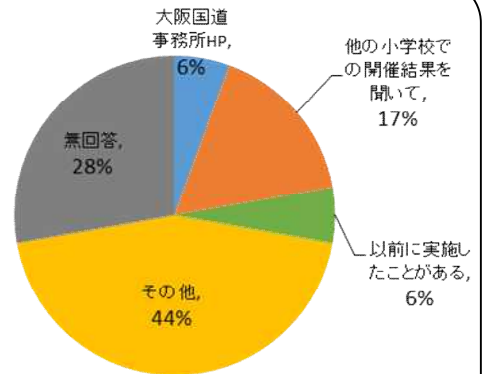


図-7 「出前講座」の企画を何でお知りになりましたか?

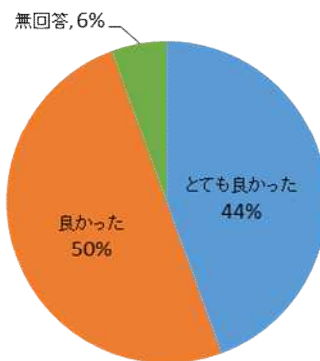


図-8 「出前講座」の企画はどうでしたか?

ことがわかる。

そのため、現在の講座内容を大幅に変える必要はないと考えられるが、保護者・先生のアンケート結果に記載のあった「自転車のマナー」や「自転車の交通知識」に関する内容について、現在は時間に余裕がある場合にクイズ形式で行っていたが、近年注目を浴びている内容でもあることから、通常の講座内容に取り入れていくことを検討する必要があると考えられる。

5. まとめ

小学校の生徒を対象に、交通安全に関する内容を理解してもらうためには、スクリーンに映し出された画像等の説明や、ただ体験するだけではなく、実際に楽しみな

がら体験してもらうことが重要であることがアンケート結果からわかった。

今後についても、引き続き体験学習をメインに出前講座を行っていくことになると考えられるが、要望の多い「自転車」関係の内容について、場合によっては警察等との連携も含め、講座の中に取り入れていくことを検討する必要があると考えられる。

※本論文は前所属である近畿地方整備局大阪国道事務所の所掌内容について述べたものである。

謝辞：これまで出前講座を受講していただいた皆様、出前講座の運営にご協力いただいた皆様、及びこれまで大阪国道事務所に所属し出前講座に参加していただいた皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。